【活動状況　令和７年第８号】

京都スマートシティエキスポ 2025 におけるブース出展及びセミナーの実施について

令和７年 10 月２～３日、精華町のけいはんなオープンイノベーションセンターにおいて開催された京都府主催イベント「京都スマートシティエキスポ 2025」において、府内事業者のサイバーセキュリティの確保及び意識の向上ワーキンググループに所属する企業がそれぞれブースを出展しました。

10 月３日には『AI For Security』をテーマに、有識者が登壇するサイバーセキュリティセミナーを開催しました。

後援：京都事業者サイバーセキュリティ支援ネットワーク

※府内事業者のサイバーセキュリティの確保及び意識の向上ワーキンググループ

（五十音順）

▽　アムティーボ・ジャパン株式会社
▽　株式会社東洋
▽　京都府警察サイバー対策本部
▽　東京海上日動火災保険株式会社
▽　PwC コンサルティング合同会社

≪ブース出展の様子≫

≪10 月 3 日実施のセミナー≫

【第 1 部】

▼題名：「AI For Security」

講師：PwC コンサルティング合同会社

執行役員、パートナー　丸山　満彦氏

社会での AI 実装が進んでいる中、サイバーリスクの防御の面でも機械学習、深層学習を活用したサイバー防御製品やサービスが広がってきています。

本講演では、AI を利用することによるメリット及びデメリット、最近の AI がサイバーセキュリティの領域にどのような影響を与えるのかという点について説明が行われました。

【第２部】

▼題名：「AI 活用によるサイバーセキュリティ対策の課題
大学×企業×警察による産学公合同パネルディスカッション」

▼ファシリテーター：

▽　立命館大学情報理工学部　教授　上原　哲太郎氏

▼パネリスト：

▽　大阪大学Ｄ３センター教授、CISO　猪俣　敦夫氏

▽　PwC コンサルティング合同会社　執行役員、パートナー　丸山　満彦氏

▽　FDUA（金融データ活用推進協会）生成 AIWG 長
東京海上ホールディングス　ビジネスデザイン部マネージャー　佐藤　竜介氏

▽　京都府警察サイバー対策本部　副本部長　塩野　亜由美

第１部の講演を基に、

○　攻撃者がどのように AI を活用しているのか

・　攻撃パターンの増加

- 2038 年問題を踏まえた未来のセキュリティ
- 生成 AI を制御するための生成 AI の必要性
- 生成 AI によるサイバー攻撃に備えた法整備
- 金融領域での生成 AI の活用

○　防御についての備え

- 大学、企業、警察におけるサイバー人材育成
- いかにして組織内で体制を組んでいくのか
- エキスパート人材（特化型人材）の育成及び確保の重要性
- AI ガバナンスを運用するための人材の不足
- 国家レベルでの対策の必要性

等について討論が行われました。